

# 第 6 回 会 議 録

付属機関又は会議体の名称		池袋駅周辺地域再生委員会（第6回）
事務局（担当課）		都市整備部 交通・基盤担当課長
開催日時		平成30年1月24日（水） 午後6時00分～午後8時00分
開催場所		豊島区立 生活産業プラザ
出席者	委員	岸井隆幸（座長）、中井検裕（東京工業大学）、羽藤英二（東京大学）、東京都 都市整備局 技監兼都市づくり政策部長事務取扱（代）、東京都 都市整備局 都市基盤部長（代）、東京都 建設局 道路管理部長（代）、UR都市機構 東日本都市再生本部事業推進部担当部長、東日本旅客鉄道（株）投資計画部 担当部長、西武鉄道（株）取締役 上席執行役員 鉄道本部 計画管理部長、東武鉄道（株）生活サービス創造本部池袋まちづくり推進部長、東京地下鉄（株）鉄道本部 鉄道統括部長、（株）東武百貨店 経営企画部 部長、（株）西武プロパティーズ 専務取締役、（株）そごう・西武 執行役員 総務部シニアオフィサー（代）、（株）池袋ショッピングパーク 総務部長、（株）パルコ 開発部 部長、（一社）東京バス協会 常務理事、（公財）東京タクシーセンター 指導部長、豊島区町会連合会 会長、としまF1会議 委員、池袋駅西口地区市街地再開発準備組合 理事長、池袋駅西口地区事業協力者 三菱地所（株）都市開発二部 部長（代）、東池袋一丁目地区事業協力者 住友不動産（株）用地開発事業本部長、旧庁舎跡地活用代表事業者 東京建物（株）都市開発事業部長、豊島区 副区長、豊島区 都市整備部長、豊島区 地域まちづくり担当部長、豊島区 都市整備部 都市計画課長、豊島区 都市整備部再開発担当課長、豊島区 都市整備部 交通・基盤担当課長
	事務局	豊島区 地域まちづくり担当部長、土木担当部長、都市計画課長、都市開発担当課長、交通・基盤担当課長
公開の可否		公開
非公開・一部公開の場合は、その理由		
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委員紹介</li> <li>3 委員長挨拶</li> <li>4 報告事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 池袋駅周辺地域のまちづくり動向について</li> <li>2) 池袋ターミナル案内サイン整備について</li> </ol> </li> <li>5 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 池袋駅周辺地域基盤整備方針（案）について                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基盤整備方針 の検討状況</li> <li>・基盤整備方針 （案）の確認</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>6 その他</li> <li>7 閉会</li> </ol>

## ■委員長挨拶

- ・ 昨年の5月に開催した前回の会議から、池袋ではさまざまな動きが出てきている。東京を見渡しても、特に渋谷では再開発の動きが活発であり、新宿でも動きつつある。
- ・ 池袋は、新宿ほど拡散はしていないと思うし、渋谷ほど駅に集中してプロジェクトがあるわけでもなく、その中間ぐらいかなと思う。池袋は、駅の再整備とともに、まちそのものをどのように変えていくかが大事なエリアだと思う。
- ・ 後ほど、事務局から紹介のある基盤整備方針案は、この間、さまざまな意見をいただいて、反映したものとなっている。
- ・ 本日は、活発なご意見をいただき、今後は、区民、都民の方に意見を聞くステップに進みたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

## ■議事

### 【岸井委員長】

- ・ まずは、報告事項について、事務局から説明して欲しい。

### 【事務局】

- (資料－1 説明)
- (DVD 上映)
- (資料－2 説明)

### 【岸井委員長】

- ・ 報告事項について、質問がなければ、本日の本題である基盤整備方針の案について議論したい。まずは、資料の説明をお願いしたい。

### 【事務局】

- (資料－3－1 説明)
- (資料－3－2 説明)

### 【岸井委員長】

- ・ 本日の後の進め方について、確認したい。

### 【事務局】

- ・ 本日の議論を受けて、必要な修正を行った後、2月14日に議会に報告し、2月24日から3月9日までパブリックコメントを予定している。
- ・ パブコメの結果は、基盤検討部会で報告し、必要に応じた修正の後、5月の再生委員会を経て策定となる。

**【岸井委員長】**

- ・各委員からの質問や意見があれば、お願いしたい。

**【委員】**

- ・アートカルチャーハブとアートカルチャースポットについてだが、ハブは公園が中心ということでなんとなくイメージできるが、スポットのイメージがわからない。事例などがあれば、わかりやすい。
- ・池袋駅と東池袋駅が2つのコアゾーンとして設定されている。東池袋駅周辺には、近年大型マンションが増えており、住民も増えていると思う。東池袋駅周辺のバリアフリー化や駅自体の回遊性の向上を含めてもらえるとよい。
- ・特にバリアフリーについては、全体的にあまり出てこない。子供、子育て世代の住み良さを考えて欲しい。
- ・P2では、にぎわい交流エリアに「リノベーションまちづくり」とあるが、このエリアには、具体的にはそのような動向は無かったと思うが、どのような主旨か。

**【事務局】**

- ・アートカルスポットのイメージのわかりにくさについては、イメージのイラスト等を作成しているところである。具体的には、案内板があり、アートカル活動に関する次のスポットの情報が得られるような場所のイメージしている。
- ・東池袋駅については、隣接する再開発にあわせて、駅から地上に出られるエレベーターの整備等を予定している。
- ・バリアフリーの観点としては、アートカルスポット全体をユニバーサルデザインで作っていくこと等を記載している。具体的な事業としては、バリアフリー基本構想を策定しており、継続して取り組んでいるところである。
- ・子育て世代の住みやすさについては、表現の工夫を考えたい。
- ・リノベーションまちづくりは、確かに現時点では、動きはないが、このエリアのまちづくりとして全てが再開発等ということではなからうということで、このような表現をしている。

**【岸井委員長】**

- ・たしかに、子育て世代への対応等は、もう少しフレーズとして、明確にした方が良くかもしれない。

**【羽藤委員】**

- ・だいぶ、分かりやすくなったと思うが、市民の方も見ることを考えると、より分かりやすい表現が必要かと思う。
- ・さきほど、EVの公共交通の話があったが、これをこの整備方針の中に入れていくことは重要だと思う。例えば、P4の5番に「歩行者優先の都市空間を支える交通ネ

- ネットワークの整備」とあるが、ここに新しい公共交通が、入ってくるのではないか。
- ・方向性の一行目は「コアとハブとつながる各交通モードの体系的・・・」とし、自動車・自転車としか書いてないが、公共交通も入れたらどうか。今回のEVは、恐らく道路空間の再配分とセットで、コアとハブをネットワークでつなぐものになると思う。
  - ・アトカルスポットのイメージだが、現実には、既に地元が賑わいを作るためにそういう配慮をしている空間はあると思うが、そこに足りないのは、サインや移動機能なのだと思う。例えば、参考事例としては、欧州のモビリティウィークで賞をとった街、ボローニャでは、電気自動車やシェアサイクルの乗り換えのスポットを設けて、そこを街の拠点として位置付けて、回遊性を強化している。
  - ・コアをバリアフリーにするというのは、私も同感である。コアでのバリアフリー化は、公共的な貢献として、今後の整備では、ぜひ重視して欲しい。高齢化して行く中で、バリアの無い移動空間というのは、駅近傍であるほど求められる。そういう空間の実現は、コアの中では、重要な目標だと思う。

**【中井副委員長】**

- ・途中の議論にも参加しているが、かなり整理されてきたと思うが、全体的に用語が、整理しきれていないと思う。具体的には、「駅コア」や「駅コアゾーン」、「駅まち結節空間」等の用語があり、いろんなページにいろんな用語がでていて分かりにくい。分かりやすさの面では、用語の統一、整理が必要だと思う。
- ・アトカルスポットは、コントロールして作ると言うよりは自然発生的に出てくるものだと思う。公共空間だけでなく、民間の施設もあると思うが、今回、アトカルハブとスポットを全域に適用するのは、1つの売り、アピールになると思う。
- ・その上で、これらのハブやスポットが、「にぎわい交流エリア」及び「生活文化交流エリア」とはどういう関係になっているのかわからない。「にぎわい交流エリア」と「生活文化交流エリア」ではスポットの性格が違うのではないか。具体的には、パフォーマンス等をやるようなスポットは、にぎわい交流エリアだと思うが、生活文化交流エリアでは、向島等でやっている空家を活用したアートギャラリーのようなイメージではないか。
- ・ハブも、「生活文化交流エリア」の防災広場と、他の3つの公園では、性格が異なるのではないか。同じようなハブが4つあるのではなくて、このエリアにあるからこそそのハブのあり方があると思う。特に、これからの整備となる防災公園については、ぜひ、エリアの特質を考慮したものをお願いしたい。
- ・エリア全体のことは整理されてきたが、駅がどうなるのかが見えてこない。これから、区民の皆さんの意見も聞くことになると思うが、例えば池袋駅の地下はどうなるのか等、表現を工夫して欲しい。
- ・従来の基盤整備方針は、公共が税金を使ってこういう整備をしますというものだが、このようなターミナルを中心としたエリアは、当然公共だけではできないので、公共と民間が協働してやっていくということは、強調して書いてある。池袋の場合は、そ

ここにアートカルチャーが、加わっている。これは、整備というより、整備の後にアクティビティをどうマネジメントするかがセットになっている。そういう意味では、基盤整備+基盤マネジメントまで広げて行かないと、なかなか持続的なアートカルチャーや劇場空間はできないと思う。今回は、基盤をマネジメントする主体について、官民の協力でやっていくこと、簡単に言えばエリアマネジメントということかもしれないが、先んじてやってもらえるとより良いと思った。

#### 【岸井委員長】

- ・今回の整備方針（案）について、もう少しブラッシュアップした方が良いという両先生からの意見だったと思う。
- ・委員会で全員が集まる機会がもう無いので、用語の整理や絵をわかりやすく書き込む等の修正については、恐縮だが、事務局と私で対応することで、ご了承いただきたい。
- ・ご意見の内、駅に関する書き込み、表現は、大きな宿題だと思う。周辺で動いているプロジェクト等をどう上手く表現するかが難しい。整備方針の中身というより、イメージを伝える表現のわかりやすさだと思うので、事務局と共に引き続き努力したい。
- ・パブリックコメントの後には、再度、この会議で確認していただくが、その時には、もちろん、区民、都民からの意見によっては、中身が変わってくると思う。
- ・今回、「アートカルチャーハブ」、「アートカルチャースポット」を街の中に埋め込んで行くことが池袋らしいまちづくりにつながると言うことで、書き込んできた。ただ、これは、中井先生の話にもあったが、基盤整備としてハードを作ればできるというものではない。公共空間だけでなく、民間事業者が動いている中で、プライベートな空間だけど、公開してもらったりすることを掲げている。
- ・公園の整備は、区が主導するとあるが、できるだけ多くの方の意見を聞きながら、基盤整備について進めて欲しい。公園をどんなことに使いたいのか、公園で何をしたいのかを考えながら対応して欲しい。それは、ひいては、管理の問題にもつながる。作った後で、管理の段階で「あれもやってはいけない」「これもやってもいけない」となると何をやっているのか、分からない。使い方のルールや責任の分担も考える必要がある。
- ・資料3-1にある過去の会議の日付に、単純な間違いがあるので、公表時は修正して欲しい。
- ・他にご意見が無ければ、事務局からの連絡をお願いしたい。

#### 【事務局】

- ・基盤整備方針（案）のパブリックコメントに向けては、本日のご意見を踏まえ、岸井委員長と相談しながら、イメージ図を加えるなどの修正を行い、整えたい。
- ・サイン整備は、平成30年度の整備に向けて、事業者と調整を進めていきたい。池袋ショッピングパークでは、まだ、掲出実験のサインをそのまま掲出しているので、ぜひ、見ていただいて、ご意見をいただきたい。

- ・次回の再生委員会では、基盤整備方針について、パブリックコメントの意見を反映したものを確認いただきたいと考えている。5月頃の開催を予定している。

**【岸井委員長】**

- ・本日は、これをもって閉会とする。

(以上)

会議の結果	
提出された資料等	資料-1 池袋駅周辺のまちづくり動向 (2018年1月) 資料-2 池袋ターミナル案内サイン整備について 資料-3-1 池袋駅周辺地域基盤整備方針の検討状況 資料-3-2 池袋駅周辺地域基盤整備方針 (案) 参考資料 池袋駅周辺地域まちづくりガイドライン【概要版】 (2016年7月) 池袋駅周辺地域基盤整備方針・中間まとめ (2017年5月) 第5回再生委員会議事録 池袋駅周辺地域再生委員会名簿
その他	